

「移動性高気圧」のいずれか。しかしながら全くノーマークの選手が金メダルを取るくらい奇跡だとジョークで締めていました。

日本は今も世界の期待を集めている。今後もその期待に応えていかなければならない
北岡伸一著《世界地図を読み直す》

7月8日読売朝刊には国際協力機構(JICA)の理事長として就任前も含め世界108カ国

を訪れ世界情勢を考察し本書を刊行された北岡氏の話が掲載。非西欧世界にも関わらず経済発展を遂げ、民主主義と自由のある社会を実現した日本は多くの国から尊敬されているのだと言っています。日本外交はこれからもそれらの国々にとって重要で幕末維新期にできていた『肝心の議論』(何がもっとも優先されるのか)が必要だと言っています。

佐倉市民花火大会 8/3

スマホで撮ろうよ！

1 三脚で固定 オートで：三脚に固定するホルダーを用意リモートシャッターを使うこと 2 明るいうちに準備：現地には明るいうちに、どんな作品構成にするかも決めておく、プログラムを見てどの花火を撮るか、場所を決定 3 撮影の「時間差」注意：フラッシュはオフにリモートシャッターを押してから撮影されるまでの時間差を測りタイミングをつかむ。タマヤー：カギヤー：(読売夕刊7/11)

ドラゴンへの階段 第3回

《エッセイ版》

佐藤 洋祐

皆さん、こんにちは！私が日本に戻ってから4度目の梅雨ですが、これほどよく動く梅雨前線は初めて。これだけ降ると、今年の夏は関東でも例年のような節水の呼びかけがないかも、それはそれでありがたいことですね。

さて、これまでの連載で、アメリカから日本に活動の拠点を戻し、「日本でジャズという音楽の素晴らしさをより多くの皆様に」を旨とし、日本レコード大賞受賞をひとつの目標にかかげた話しまでをさせていただきました。では、実際どうやって？ということになります。

ですが、私が考えておりますのは「この地ジャズ」を演奏していく、です。さあ、またこの私という変わり者の突飛な話し、どうぞ話し半分でお聞きいただけたら！

まず、「ジャズ」というものが何をもってジャズなのか、どこからどこまでを人はジャズと呼ぶのかということですが、音楽がこれほど多様になった今、これを定義するのは難しいことです。人によってはかつてのスイングジャズ黄金時代のベニーグッドマンやグレタミラー楽団の奏でる音楽を連想される方もいらっしゃるでしょうし、かつて日本で人気だったジャズ喫茶で流れたモダンジャズこそがジャズよ、という方もおいででしょう。アメリカの黒人が演奏する音楽のみがジャズ、というご意見、いやいやジャズは今や世界共通語、あのビートルズも現代のポップスやクラシック音楽もジャズの影響を受けておるぞ、という

ご主張もあるでしょう。

挿絵 TAKAKO



「これは簡単に私の「ジャズとは何か」を、「ジャズとは心の赴くままに演奏される、正解のない音楽」です。ご存じの方も多いかと思いますが、ジャズは即興で演奏される音楽、あらかじめ演奏する内容が決まっています。例えば同じタイトルの曲を演奏しても共演者やその場の雰囲気、気分に合わせて奏でられ、演奏される内容も聞こえてくる音も違ってまいります。例えば有名なショパンの「幻想即興曲」、もちろんクラシック音楽の名曲ですが、もし当時のショパンがその時の気分で心の赴くままに演奏したものであるならば、それはジャズでもあった、ということになります。

ただその時の彼の演奏を楽譜として記録し、その楽譜通りに弾くことを正解として演奏するならば、それはジャズではありません。こうしてみますと、ジャズをジャズたらしめるのは「何を演奏するか」でなく、「どのような心で演奏するか」ということになりそうです。

私がジャズを素晴らしきもの、より多くの方にその素晴らしさをお伝えしたいと思うのは、そういうジャズのおおらかさ、自由さ、ジャズが個人々々を尊重することを愛しているからです。(一方で、伝統音楽芸能としてジャズを考えれば、学ばなければならないことの多いかなり不自由なもの、と言えなくもないのですが、この話はまたの機会に)

さて、今回はそのジャズをどうやって「この地ジャズ」にするのか、お話しさせていただきたいと思っています。

《佐藤 洋祐(サトウ ヨウスケ)ジャズミュージシャン。サクソフォーン奏者としてグラミー賞を2度受賞、ノミネートは4度。海外での活躍で世界的に高い評価を得た。その後2015年末千葉県に住まいを移し現在に至る。》